



GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

2013-2014

Rotary

International

District

チューリップ in 胎内



ガバナー 山崎 堅輔

事務局：〒959-2627

新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F

TEL0254-28-8822 FAX0254-28-8826

E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp



CONTENTS

表紙ページ.....	1
ガバナーメッセージ.....	2
佐々木年度 地区研修・協議会 報告.....	3
米山奨学生オリエンテーション・歓迎会 報告	5
中条胎内 RC 創立 20 周年記念式典 報告.....	6
田上あじさい RC 創立 20 周年記念式典 報告.....	7
分水 RC 創立 40 周年記念式典 報告.....	8
地区補助金プロジェクト報告 糸魚川中央 RC.....	9
地区補助金プロジェクト報告 新発田城南 RC.....	10
地区補助金プロジェクト報告 水原 RC.....	11
地区補助金プロジェクト報告 柏崎東 RC.....	12
ハイライトよねやま 170 号	13
第 2560 地区 2013-2014 年度 4 月末 会員数および出席報告.....	15
裏ページ.....	16

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2560 地区
ガバナー 山崎 堅輔 (中条 RC)



いよいよ今年度もあと1ヶ月となりました。

光陰矢の如し、と言いますが、月日の経つのは早く、瞬く間に6月を迎え、2013-2014 年度がスタートしたのがつい先日のように思われます。

会長・幹事の皆様には特段のご協力を頂き、此処まで来る事が出来ましたことを、心より御礼申し上げます。

今月は『Rotary Fellowship Month』即ちロータリー親睦月間です。

ロータリーの理念を実践する中で、5大奉仕は最も基本的な奉仕活動です。

それは初めに親睦が有り、そこから職業奉仕が生れ、社会奉仕に展開して、国際奉仕の育成に繋がっていくと言う、ロータリーの歴史が示すように、親睦が出発点となっています。そして毎週開催される例会こそが親睦の出発点と言っているのではないのでしょうか。新会員は先ず親睦活動委員会に所属することが多いようです。例会場の受付などで来訪者や会員をお迎えすることが大切です。『心は誰にも見えないけれど、心遣いは誰にも見える』と言います。

例会では職業上の情報交換を通じて発想の転換を図り、分かち合いの精神による永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれていきます。

親睦活動委員会の任務を親睦会の幹事や同好会の世話役に留めることは誤りです。親睦を深める最適の場所は毎週開催される例会であることを忘れてはなりません。

6月は締め括りの月ですが、同時に次なる年度への最終確認月でもあります。

地区内56クラブが心を一つにして『ローリーを實踐し、みんなに豊かな人生を』のテーマに向けてご尽力下さったことに感謝して、謹んで心より御礼申し上げます。そして、佐々木年度をどうぞ宜しくお願い致します。

佐々木年度 地区研修・協議会

最重要課題は“会員増強”

国際ロータリー第 2560 地区
ガバナーエレクト
佐々木 昌敏 (小千谷 RC)

ドキドキとさくらの花の咲く予感。雪国の春が来ました。皆さんお元気のうちに山崎年度の総仕上げ、そして佐々木年度の準備ということで、楽しいロータリー活動を展開されておられることと存じます。

おかげさまで、2月22日のクラブ会長エレクト研修セミナー(PETS)に引きつづき、地区研修・協議会を終了いたしました。

ご案内のように、ガバナーは、ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)と国際協議会に出席することが要件となっておりますが、クラブの会長さんも同じく、PETSと地区研修・協議会への出席が要件となっております。



地区研修・協議会は、PETSでご理解いただいたRI会長ならびに地区方針に従って、その方針、目標をどのように具現化していくかという作戦会議であります。

会長・幹事さん中心の第1セッションからロータリー財団の第6セッションまで、熱い議論が90分間展開されて、大変有意義な協議会となりました。佐々木年度最重要課題であります会員増強につきましては、各クラブの年度会員純増目標の設定が完了いたしました。

セッションに先立ち、基調講演をお願いしました、市川先生から小職宛の手紙を紹介させていただきました。

旅のはじめは 上々であった。

これから私はあの遠くに見える 美しい山に登る。

登るにつれ眺望は開け 景色はよくなる。

しかし更に登ると道は悪く 風は冷たい。

あきらめようと何度もしたが 無理に無理をして とうとう山の頂上に立った。

そこには 今まで見たこともない眺めがひろがる 何という感激。

あきらめなかったから この景色が見られた。あきらめたら生涯 この景色にはあえなかった。

人生は山登りと同じだ。あきらめて 感激はない。

あきらめず大きな志を抱き続けてこそ 君の本当の人生がある。

生きていくということは 自分の本当の人生をさがすことだ。

生きる限り さがし続けて行くことだ。

市川 伊三夫

第 2560 地区の皆さん。会員増強のテーマに向けて、力を合わせ目標達成の感激を味わいましょう。



米山奨学生およびカウンセラーオリエンテーションのご報告

国際ロータリー第 2560 地区

米山記念奨学委員会 奨学生選考委員

野崎 裕 (新潟東 RC)

5月17日(土)に新潟市のホテルオークラ新潟に於いて2014年4月から新たに奨学期間をスタートする米山奨学生およびカウンセラーのオリエンテーションが開催されました。

当日は山崎 堅輔ガバナー、佐々木 昌敏ガバナーエレクト、植木 康之パストガバナーのご列席をいただきました。

2014学年度米山奨学生21名(新規19名、継続2名)は、山崎ガバナーの挨拶、そして大橋 米山奨学委員長の挨拶と続き、オリエンテーションに入りました。オリエンテーションでは、奨学生の義務や責任、世話クラブカウンセラーの意義、世界中に広がる「米山学友会」等々の説明を受けた後、誓約書・同意書に署名をして米山記念奨学生のスタートとなりました。続いて、詹 秀媚 学友会会長の挨拶を頂き、皆さんで記念撮影をして歓迎会へと進みました。

歓迎会は、佐々木ガバナーエレクトの挨拶と乾杯でスタートし、当日初めてお会いした奨学生とカウンセラーの皆さん、学友会の理事の各々よりスピーチを頂き、和気あいあいと楽しい時間を過ごすことが出来ました。中締め挨拶を安藤 次年度米山奨学委員長より頂き、全員で「手に手つないで」を大合唱して、大いに盛り上がり、お開きとなりました。

奨学生をお引き受けくださった世話クラブ、カウンセラー、学友会、役員の皆様、大変ありがとうございます。奨学生が皆様との交流を通じてロータリー精神を学び、その活動や日本人の心に触れる機会が与えられる中で、奨学生としてふさわしい学生に育っていくことを期待したいと思います。



中条胎内ロータリークラブ 創立 20 周年記念式典及び祝賀会 報告

中条胎内ロータリークラブ

2014 年 4 月 19 日（土曜日）会場：中条グランドホテルにて「感謝をこめて 新たなる出発」誓いを新たに、中条胎内ロータリークラブの創立 20 周年記念式典及び記念祝賀会が、胎内市長吉田 和夫様 はじめ県内外より、46 ロータリークラブの皆様のご参加を賜り、盛大に挙行されました事は、有難く御礼申し上げます。

中条胎内ロータリークラブは 1995 年 4 月 23 日、中条ロータリークラブをスポンサークラブとして、国内で 2141 番目、第 2560 地区としては 91 番目のクラブとして RI に認証されました。この様に、創立 20 周年記念式典を挙行出来ました事は、歴代会長、幹事はもとより会員各位の親睦と奉仕への情熱の賜物と深く敬意を表するものであります。また、これまでご指導、ご鞭撻を頂きました中条ロータリークラブの友情に対し深く感謝申し上げます。

創立 20 周年記念として 4 事業を終える事が出来ました。

- ・こぼと作業所にモルタルミキサーを寄贈いたしました。
- ・さわらび保育園での食育教室と野外昼食会を開催。
- ・20 周年記念クリスマス仮装パーティーを開催し、福島原発からの避難者を招待して一緒に楽しみました。
- ・日本海沿岸の松枯れ対策として植樹事業を地域住民、福島の方々、青年会議所の方々と共に植樹をしました。奉仕のキャッチボールを目指して、共働作業を実践出来た事は嬉しく思います。



記念祝賀会では、全会員が「おもてなしの心」を持って手作りで、餅付き、ゲーム、スライドショー、サクソホン演奏、独唱を披露しました。最後の「手と手つないで」の演奏まで、サクソホンの生演奏をお楽しみ頂けたのではないのでしょうか。

中条胎内ロータリークラブは 20 周年を節目とし、ロータリーの真価を原点に、国際親善、国際奉仕は基より、地域社会に根差した奉仕活動を実践していく所存です。今後、益々のご支ご協力をお願い致しまして、報告に代えさせていただきます。



田上あじさいロータリークラブ 創立 20 周年式典の報告

田上あじさいロータリークラブ

4月27日（日）に創立20周年記念式典と祝賀会を開催させていただきました。

当クラブは、会員数6名という県内でも最も少数のクラブです。

当初は開催できるのか心配されましたが、鈴木ガバナー補佐から激励をうけ、第四分区はじめ多くの地区の皆様の参加をいただきましてなんとかやり遂げることができました。

手作りの会ではありましたが、山崎ガバナーからも暖かい祝辞をいただきました。

田上あじさいロータリークラブの記念の一日となりました。



40年を節目に更に「たすき」を繋いで

分水ロータリークラブ

5月10日分水ロータリークラブは創立40周年の記念式典を行いました。

当日は2560地区の40クラブのロータリアン、地区役員、地元来賓の方々、総勢207名にご参加をいただきました。

この式典の二週間前に記念例会を行い、過去10年間の歴代会長の表彰式そして会員のご家族をご招待し、陰で支えて頂いたその労に対し感謝の意を表しました。記念式典には桜のご縁で6年前に友好クラブ協定を結んだ、長野県伊那中央ロータリークラブの皆さんも大勢参加して頂きました。そのご縁で当日の記念講演はロータリアンでもある伊那中央病院名誉院長の小川 秋實先生から「長寿日本一になった長野県の実情」と題しお話をして頂きました。

私たちはこの40年を節目とし駅伝ランナーに例えるなら「奉仕の理想」というたすきを次の世代に繋いで行きたいと心を新たにしております。



2013-2014年度地区補助金プロジェクト報告:糸魚川中央ロータリークラブ

小学校5年生「ぼくの夢・わたしの夢」

糸魚川中央ロータリークラブ

糸魚川中央RCでは、2008年より市内小学校5年生を対象に「夢」について作文を書いてもらっています。優秀な作品には例会で作文を発表してもらい、表彰式(賞状と図書券の授与)も行っています。

今年の作文総数は市内小学校10校、338人より応募作品がありました。ソチ冬季五輪では、ハーフパイプの平野歩夢選手(15歳)を初めとし、多くの十代の選手がメダルを獲得しました。小学校5年生には素晴らしい目標と可能性、そして実現性が実感できたのではないかと思います。

子供たちに大きな夢をもってもらい、その夢に向かって努力するために始めた事業です。このような事業に大切な地区補助金を使わせていただき、子供たちと共に、我々RC会員も大変感謝しているところです。

これからは夢の実現に向けて、どれだけの子供たちが夢をかなえているのか見届けてみたいと思います。豊かな心と感性、未知の力を持っている子供たちに、少しでも奉仕の心が届きますように・・・

『boys be ambitious』未来を夢見て!!



震災復興は成就したか？

新発田城南ロータリークラブ

当クラブは、2011-2013 の2年間、「東日本大震災復興支援特別プロジェクト」と称して陸前高田市の新一年生(新就学児童)を対象に、文房具(メロディオン+クレパス約 130 組/年)を支援してきました。更に今年度も同様な支援を行う事が出来ました。当クラブは決して大きなクラブでも財政的に裕福なクラブでもありません。「R 財団地区補助金」を上手に活用してこそ可能だった3年間にも亘る支援事業でした。

現地を訪問し思ったことは、津波によって生じた残骸は綺麗に片付いてはいました。しかしそこにあるべきはずの店舗や工場(勤め口)が無くなり空き地ばかりが目立っていました。震災の被害は未だ深く、むしろより複雑により難しくなっているように感じました。

社会奉仕事業を行ってみて気づく事も多く、一見平穏な日本ですが、私たちの支援を待っている社会的弱者も多いように感じます。

将来(あす)の日本の為、共にがんばりましょう！！



陸前高田市庁舎-プレハブ



目録贈呈-山田教育長へ



プレハブ市庁舎前にて



南三陸町防災庁舎



時計台：津波襲来時間を表示

国の存命にかけロータリーの活性化策

水原ロータリークラブ

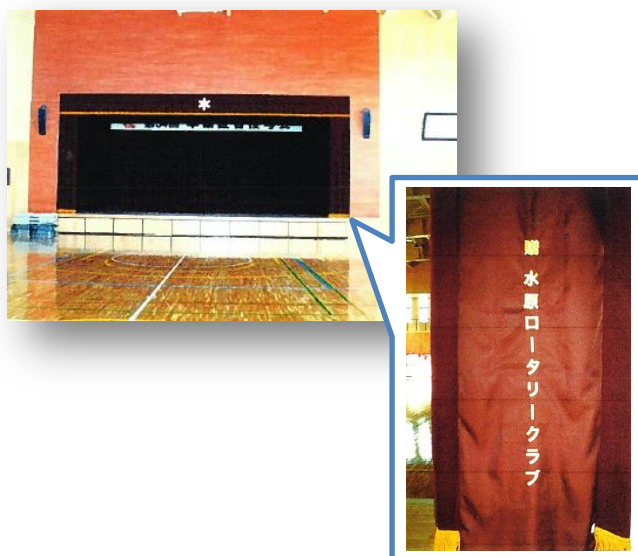
日本の経済の状況を見る限り、何と言っても「少子化対策」が最重要課題であり、この問題を国民全員が真剣に捉えなくてはならない時代です。

根本基本を忘れ、何か上辺の目先ばかりにとらわれ、本当に痛いところに手を付けず、場当たり主義なところをやってきたつけが大きく現れているのが現状です。我々ロータリアンとして将来この国をどうするか、全国的な規模で行動しなくてはならない時代に入っています。

今回のテーマ目標は、それ増強だ、増強だと連呼していますが肝心の少子化対策を前面にうちだし、ロータリーとして国益を思い全員が活動態勢に入る時代と理解を致しているところです。これだけの組織をフルに動かすのであるなら、何ら不可能はないと考えるところです。

当クラブ過去にない事業をとということで、2013-2014年度に、水原中学校新築に伴い、屋内体育館ステージ幕を寄付させていただきました。水原ロータリークラブと文字刺繍いたしました。この点について、地区の補助金申請をし、会員の理解が深まり、地域の方々より、ロータリークラブの理解を受けることで、これからの活動にも大きく影響すると期待を致しております。

関係各位の方々に、会員に代わり厚くお礼申し上げますと共に、感謝致しております。



さらには、PR、広告宣伝をする為に、国道49号線沿いに、縦4m、横6mの看板を設置いたしました。今後はより一層、楽しく、皆さんと連携し、発展することを祈念いたします。



Bangladeshへの古靴等寄付プロジェクト

柏崎東ロータリークラブ

柏崎東RCでは2011-12年度からフィリピンの子どもたちに古靴などを送るプロジェクトを実施しております。

今年度はBangladesh政府からの要望がありBangladeshの恵まれない子どもたちへ贈る古靴、古シャツを集めました。

今回で第3回となり、例年柏崎市内3つのロータリークラブに協力を頂くと共に各事業所、保育園、幼稚園にポスターを貼って宣伝をして頂き、今年も沢山の古靴を集める事ができました。



5月10日、新潟産業大学附属高等学校において当クラブ会員と附属高校先生と、インターアクトクラブのメンバーの協力で無事梱包作業が終了しました。

今年度は古靴908足(25箱)、古シャツ777着(24箱)合計49箱の梱包になりました。

6月に在日Bangladesh大使館にて手交式を行い、その後Bangladeshの子どもたちの元へ行き渡る予定です。



2014年5月12日発行【月刊】
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま170

1 寄付金速報 — 残り2カ月もよろしくお祈りします —

4月までの寄付金は前年同期と比べ3.5%増、約3,900万円の増加です。普通寄付金は前年とほぼ同額ですが、特別寄付金が5.3%増となりました。大口の法人寄付をいただいたこともあり、4月単月の寄付金、4月までの累計金額ともにこの5年間で最高額となり、今年度の寄付金は好調に推移しています。ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。今年度も残すところ2カ月弱となりました。普通寄付金をまだお送りいただいていないクラブがありましたら、お早めにご送金賜りますようよろしくお願い申し上げます。

普通寄付金の
送金忘れは
ありませんか…?

2 博士号取得状況 — 奨学期間が終わっても申請可 —

今年も卒業式を終えた学友から、博士の学位を取得したとの報告が届いています。2013学年度(2013年4月～2014年3月)に博士号を取得した奨学生・学友は38人、累計では3,430人です(5月8日現在)。博士号取得者には、米山記念奨学会からお祝いの腕時計(裏に氏名の刻印あり)を世話クラブ経由でお贈りしています。すでに奨学期間を終了した学友も申請できますので、事務局まで報告をお願いします。※発送は国内のみ



申請方法 「学位記の写し」が「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へ FAX またはメールでお送りください。(FAX: 03-3578-8281/メール: scholars@rotary-yoneyama.or.jp)

3 春の叙勲 — 台湾の学友が旭日中綬章 —

平成26年春の外国人叙勲で、台湾で“エビ養殖の父”として知られる米山学友、廖一久さん(1965-68/田原RC)が、旭日中綬章を受章されました。廖さんは日本留学中、東京大学で水産学を研究し、帰国後は台湾の水産試験所の研究員として、世界に先駆けてブラックタイガーエビの養殖を成功させるなど、台湾のみならず世界の養殖業に多大な影響を与えました。2012年には世界水産養殖同盟(Global Aquaculture Alliance)によるGOAL(Global Outlook for Aquaculture Leadership) 2012大会で終身功績賞を受賞、また、2009年には台湾で最も権威のある科学賞、第5回総統科学賞を受賞しています。



<廖一久さんからの喜びのコメント>

4月29日、岸田文雄外務大臣より「旭日中綬章」を授与いたす旨の祝電を頂きました。身にあまる、望外な名誉で恐縮しております。私が長年研究して参りました魚介類、とりわけエビ類の養殖技術開発研究とその学術交流が、日台間の関係に貢献したことが評価されて今回の受章となりました。これは皆様から頂いたご支援とご鞭撻、特に、私の留学生時代に頂きました米山奨学金に負うところが大変大きいと思います。心より厚く感謝致します。今回の叙勲の名誉を汚すことのないように、心を引き締めて精進する所存です。

4 埼玉・川越駅前に米山学友の彫刻作品が設置されました



韓国出身の米山学友、キムキョンミンさん（2007-08／東京多摩グリーンRC）の彫刻作品が、今年2月から埼玉県・川越駅西口広場に設置されています。「時間のハーモニー」と題されたこの作品は、2012年第5回小江戸川越トリエンナーレ・彫刻部で大賞を受賞したもので、川越駅西口広場の再開発とともに設置され、長く親しまれてきた噴水に代わる新しいモニュメントとして、市民の待ち合わせや憩いの場となっています。キムさんは現役奨学生の時に、第92回二科展彫刻部で二科賞に輝いたことがあり、今後ますますの活躍が期待されます。川越を訪れる際には、ぜひキムさんの作品をご覧ください。

5 中学校で「国際交流」の講演 — エソダ・バスネットさん —

第2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）米山学友会会長を務めるエソダ・バスネットさん（ネパール／2011-12／横浜戸塚RC）が4月28日、綾瀬市立陵北中学校（神奈川県）で「国際交流」をテーマとする講演を行いました。ネパールの民族衣装に身を包んだエソダさんは、全校生徒約700人に向けて、母国ネパールの紹介をはじめ、自身の日本留学体験や国際理解の重要性について語りました。



700人もの生徒さん達の前で話すのは初めての経験でしたが、皆さん、大変興味深く話を聞いてくれて、質問やコメントもしてくれたおかげで、充実した時間を過ごすことができました。今後も米山学友の誇りをもって、日本で学んだ知識や経験、語学力とロータリー関係のネットワークを活かしながら、ネパールと日本の懸け橋であり続けたいと思います。

6 今年も大活躍！台湾学友会が美化活動に協力

4月19～20日、台北市内で開催された台湾美化協会（台湾を美しくする会）の第12回年次大会に、台湾米山学友会メンバーやその家族、台湾学友会が支援する日本人奨学生ら15人が参加しました。同協会は、米山学友の徐重仁さんが、日本のNPO法人「台湾を美しくする会」の活動に感銘を受けて2003年に創立したもので、年次大会には毎年、日本人も多数参加します。台湾学友会の参加は2007年からで、今年で8回目。米山学友は、清掃活動や日台参加者の交流を深める懇親会の通訳ボランティアなどを務め、橋渡し役として貢献しました。



台湾米山学友会の林維宏理事長は、「今年の学友会テーマ“恩恵の倍返し”に基づき、日台交流の盛大な行事の一つ、台湾美化協会年次大会の成功を今年もサポートすることができ、大変うれしい」と語りました。また、長年“緑の下の力持ち”として学友会を支える元理事長の阮允恭さんも、「『きれいな群、清潔の心』。これを実践することによって、社会に対する利他の精神が磨かれます。参加の機会を頂いて、本当に感謝です」と、充実感に満ちた感想を寄せてくれました。

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津・峯

第2560地区 2013-14年度 4月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	4月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	89.79	345	352	38	7
新発田	3	96.31	85	86	0	1
村上	4	94.53	32	33	7	1
水原	4	76.35	26	26	1	0
中条	4	92.65	31	34	3	3
新発田城南	4	94.04	42	41	7	-1
豊栄	4	79.60	26	27	4	1
新発田中央	4	91.58	50	51	5	1
中条胎内	4	91.38	29	29	5	0
村上岩船	3	91.67	24	25	6	1
第2分区(9クラブ)	／	87.83	405	438	17	33
新潟	4	87.22	83	94	0	11
新潟東	4	89.35	53	56	5	3
新潟南	4	83.48	85	93	0	8
佐渡	3	77.80	12	12	0	0
新潟西	4	91.94	32	34	1	2
佐渡南	4	88.17	42	44	5	2
新潟北	4	82.37	36	42	0	6
新潟中央	4	92.67	23	24	0	1
新潟万代	3	97.44	39	39	6	0
第3分区(6クラブ)	／	78.09	138	135	8	-3
新津	4	71.88	25	24	1	-1
村松	4	82.00	9	9	0	0
五泉	4	83.40	21	20	3	-1
白根	4	73.80	43	43	2	0
新津中央	4	74.17	31	30	1	-1
阿賀野川ライン	3	83.30	9	9	1	0
第4分区(11クラブ)	／	78.45	352	368	21	16
三条	4	83.31	54	55	0	1
燕	4	68.17	25	30	1	5
加茂	4	74.99	31	31	5	0
三条南	4	96.38	44	50	1	6
分水	4	68.07	29	30	2	1
見附	4	70.00	18	20	1	2
吉田	4	83.30	33	33	1	0
三条北	4	78.23	71	70	5	-1
巻	4	87.50	11	11	0	0
田上あじさい	6	69.40	6	6	1	0
三条東	4	83.62	30	32	4	2

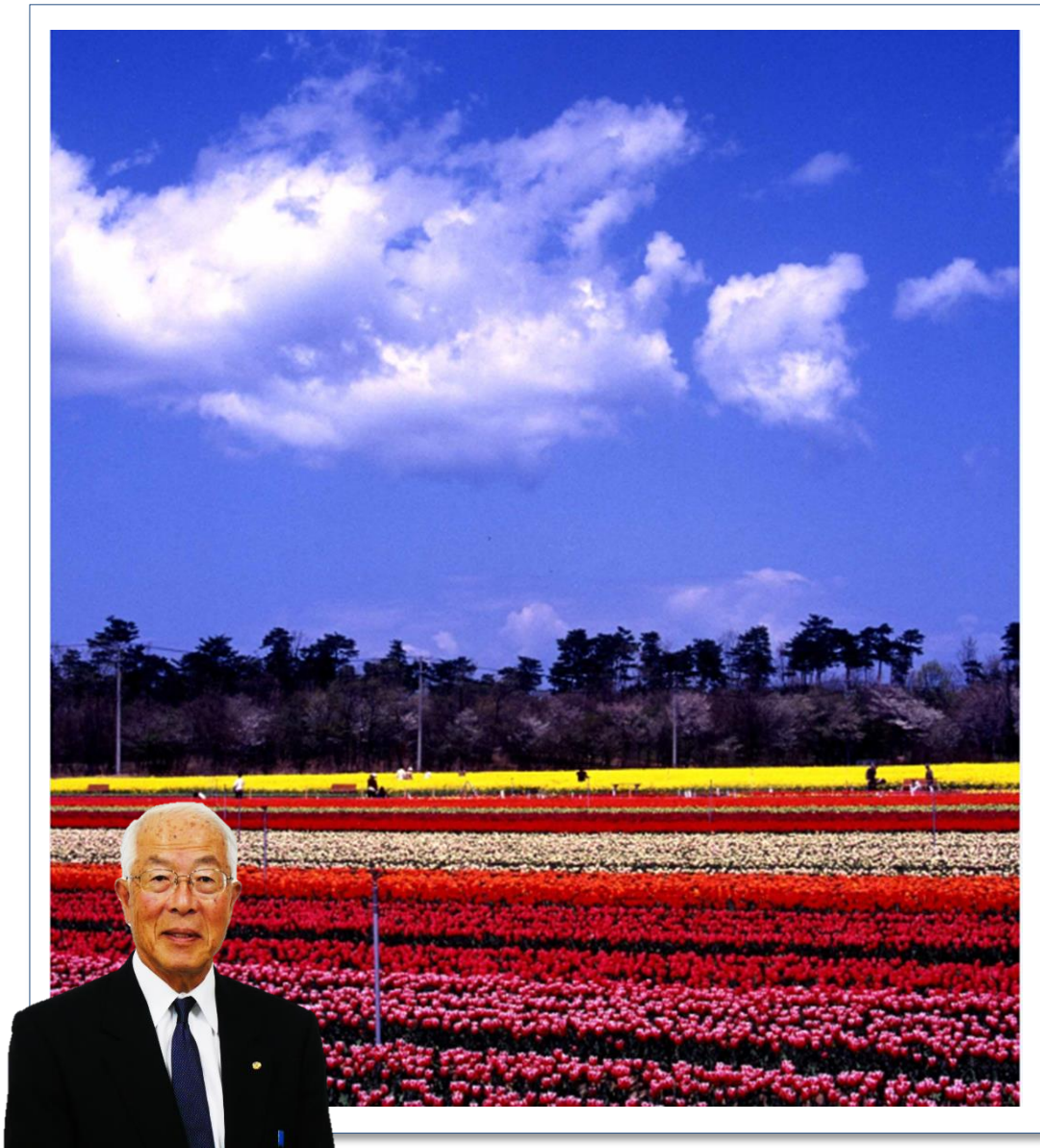
R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	4月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	90.43	300	305	30	5
長岡	3	89.52	37	42	2	5
柏崎	4	91.93	47	47	0	0
長岡東	4	89.20	63	64	7	1
柏崎東	4	95.56	44	45	5	1
栃尾	4	89.29	25	22	0	-3
長岡西	4	86.81	44	46	5	2
柏崎中央	4	90.70	40	39	11	-1
第6分区(6クラブ)	／	87.89	148	151	6	3
十日町	4	96.96	32	32	0	0
小千谷	3	92.30	38	39	3	1
雪国魚沼	5	76.70	21	21	1	0
十日町北	5	93.91	22	23	1	1
津南	4	90.39	24	24	1	0
越後魚沼	4	77.05	11	12	0	1
第7分区(9クラブ)	／	80.90	302	307	26	5
高田	4	96.44	58	58	0	0
直江津	4	81.54	37	43	2	6
新井	4	76.00	29	30	3	1
糸魚川	4	77.31	36	37	2	1
妙高高原	0		4	0	0	-4
高田東	4	78.75	38	40	3	2
糸魚川中央	4	76.56	33	33	0	0
頸北	5	82.90	15	15	1	0
越後春日山	4	77.66	52	51	15	-1

妙高高原RCは11月末で解散致しました。

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	1,990	人
4月末 会員数	2,056	人
女性会員数	146	人
純増減会員数	66	人
当月平均出席率	84.60	%



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2560



国際ロータリー第2560地区 山崎ガバナー事務所

〒959-2627 新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F
Tel.0254-28-8822 FAX0254-28-8826
E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp